

# 平成29年度 施策評価表

課・グループ名	まちづくり課企画情報グループ
---------	----------------

作成年月日：平成30年 9月 日

施策名	①広域行政の推進 1-3-①		
1. 施策の現状分析及び展開方向			
政策・施策の体系	大項目	中項目	小項目
	1. 町民協働に支えられる自立したまちづくり	(3) 地域と地域のつながりを強める広域行政の推進	①広域行政の推進
①施策のねらいと展開方向	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 既存の一部事務組合等のほかに、複数市町との広域的な連携による新たなサービスや事務処理体制のあり方などを検討し、効率的な広域行政を推進します。</li> <li>● 周辺市町や北海道空知総合振興局とともに圏域一体となって、スケールメリットを生かした知名度向上、観光振興、地域定着、移住定住の促進を図ります。</li> </ul>		
②施策の現状と課題	現 状	課 題	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 上水道・火葬場・ゴミ処理・消防は、一部事務組合を組織し共同処理しています。</li> <li>● 可燃ゴミは、2市4町（千歳市・北広島市・栗山町・長沼町・由仁町・南幌町）の協議会により一部事務組合を設立し、平成36年度の焼却施設稼働に向けて、準備を進めています。</li> <li>● 南空知の全市町で、南空知ふるさと市町村圏組合を組織し共同で施策や事業を実施しています。また、平成24年度に南空知災害時相互応援に関する協定を締結しています。</li> <li>● 南空知南部介護認定審査会（栗山町・由仁町・南幌町）を共同設置しています。</li> <li>● 南空知南部障害認定審査会（夕張市・栗山町・由仁町・南幌町）を共同設置しています。</li> <li>● 厳しい財政運営の中、社会経済環境の変化や多様化する住民ニーズへの対応に伴う事務の効率化に向けて、周辺自治体との広域的な連携を進めています。</li> <li>● 消費生活相談業務は、4町（栗山町・長沼町・由仁町・南幌町）を含めた広域で消費者相談に対応するため、平成23年度より栗山消費者協会に委託しています。</li> <li>● 有害鳥獣駆除業務は、1市4町（夕張市・栗山町・長沼町・由仁町・南幌町）及び関係機関・団体を含めた広域協議会として、南空知広域有害鳥獣被害防止対策協議会に平成25年度より加入しています。</li> <li>● 平成23年度より南空知4町（栗山町・長沼町・由仁町・南幌町）で、事務事業の広域連携を探るため、広域連携検討会議を設置しています。また、知名度向上、観光振興、移住定住の促進に向けた取り組みを行っています。</li> <li>● 江別市内の大学・短大に通う学生の地域定着を促進するため、平成27年度に江別市が主体となり周辺自治体とともに学生地域定着推進協議会を設立しています。</li> <li>● 空知地域の知名度向上と総合的な魅力発信をはじめとする空知地域の活性化を目指し、平成28年度に北海道空知総合振興局と管内24市町による北海道空知地域創生協議会を設置しています。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 少子高齢化の進行などによる人口減少の一方、住民の活動範囲の広域化と情報通信手段の急速な発達・普及に伴い多様化・高度化する住民ニーズと行政課題への効率的かつ的確な対応が求められています。</li> <li>● 大都市圏在住者を対象とした知名度向上や観光振興、移住定住促進事業などにおいて、単独自治体だけでは効果的な取り組みが難しい状況です。</li> </ul>	

2. まちづくりの成果指標の設定、達成状況							
① 成果指標	設定の意図		まちづくりの成果指標名		数値化		
	広域行政の推進についての現状を把握する指標として、南空知4町観光入込客数を設定することで、周辺市町や北海道空知総合振興局と協力連携し、スケールメリットを生かした知名度向上、観光振興、地域定着、移住定住等の推進状況を把握する。		成果指標（総合計画・施策評価）	○	可能		
			南空知4町観光入込客数		不可能		
			代替指標 ※成果指標がない場合		指標の設定		
					可能		
					不可能		
※施策目的(施策の意図)の達成状況を把握するための指標を記載しています。							
② 指標データ	単位	過年度実績			評価年度	目標年度	達成率増減の理由
		H26	H27	H28	H29	H33	
目 標	千人		1,876	1,895	1,914	1,951	
実 績	千人	1,857	1,907	1,760	1,774		
達成率	%		101.7	92.9	92.7%		

管内市町と連携し、知名度向上、観光振興、特産品販売など幅広い分野で取組みができた。目標値は成果指標がやや下回っているものの概ね達成した。

評価視点	評価結果	理由・課題・問題点
③施策の達成状況	A 計画目標に向けて順調に推移 (目標達成は十分に可能である)	国の地方創生交付金や北海道地域づくり総合交付金を活用し、広域連携によるスケールメリットを生かした効果的な新しい人の流れづくりや地域PRに取り組めた。
	B 計画目標に向けて概ね順調に推移 (目標達成は可能である)	
	C 計画目標に向けての進捗はやや遅れている (目標達成が遅れる可能性がある)	
	D 計画目標に向けての進捗は遅れている (目標達成は難しい)	
	施策の達成度	B

### 3. 施策を構成する事務事業の評価

【種類】事務事業の種類	【必要性】事務事業の必要性	【妥当性】町の関与の妥当性
(1) 自主事業(自主)	(1) 町が保障する町民生活の最低水準に関わるもの	(1) 町が実施主体となり、企業等が補完的な役割を行う事業
(2) 施設管理事業(施管)	(2) (1)を超えるサービスで町民ニーズが大きいと考えられるもの	(2) 実施主体は企業や町民団体等が適当であり、市が補完的な役割を担う事業
(3) 経常的事務(経常)	(3) (1)を超えるサービスで町民ニーズが小さいと考えられるもの	(3) 企業や町民団体等による実施が妥当な事業
(4) ハード事業(ハード)		

①事務事業評価結果											施策への貢献度 <高い> <普通> <低い>		
事業番号	事務事業名	種類	所管課名	成果指標	評価年度(H29)		事務事業の内容	必要性	妥当性	事務事業評価結果(方向性)		事業費(千円)	
					目標	実績						H29実績	H30予算
1	南空知4町地域連携事業	(1)	まちづくり課	観光客入込数(南空知4町計)	1,914	千人	南空知4町における地域資源を生かした各町による連携事業を展開する。	III	I	2 見直して継続	4,934	普通	
					1,774	千人					242		
2	学生地域定着支援推進事業	(1)	まちづくり課	学校等との連携件数	5	件	推進協議会事務局による双方のニーズ把握とマッチング	III	I	1 現状のまま継続	335	普通	
					11	件					814		
3	空知魅力発信プロジェクト事業	(1)	まちづくり課	観光客入込数(南空知4町計)	1,914	千人	空知地域の知名度向上を目指し、全空知市町及び空知総合振興局と連携し、総合的な魅力発信をはじめとする空知地域の活性化に向けた取組みを行う。	III	I	1 現状のまま継続	395	普通	
					1,774	千人					0		

年度別施策全体の事業費合計(千円)	
H29事業費	5,664
H30予算	1,056

②H30に実施した新規事務事業				
実施計画	実施主体	事務事業名	事務事業の内容	H30予算(千円)
1				

評価視点	評価結果	理由・問題点
③事務事業の妥当性 (手段は妥当か)	A 効果的な事業構成である。 (現状のまま継続する)	南空知4町全体の観光客入込数は、目標値には達していないものの、H28年度比でほぼ横ばいを維持しており、概ね目標を達成している。学生地域定着支援推進事業は、まだまだ小さいものの、地域において流出が著しい若い世代の新たな人の流れづくりにつながっており、実績についても目標を上回っている。
	B 概ね効果的な構成である。 (一部見直し等の余地がある)	
	C あまり効果的な事業構成はない。 (見直し等の余地が大きい)	
	D 事業構成に問題がある。 (抜本的な見直し等が必要である)	
	事業構成の妥当性	B

### 4. 今後の方向性 ※外部評価(行政評価委員会)

①総合評価 (今後の展開、事業の見直し等) 委員会評価	【評価】 特に課題とすべき指摘事項はない。	事業の方向性 優先度 A~D (ランク)	事業番号				平成30年度以降 の子算の方向性	
			A					
			B	2				拡大
			C	1	3			○ 維持
			D					縮小